

令和6年度 墨田区立竪川中学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 稲垣 吉実

学校教育目標	確かな学力の定着と人権尊重の精神の涵養を目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動の展開により生徒の生きる力を育むため、次の目標を掲げる。 ○ゆたかな心 徳 <やさしく> 豊かな心や創造性の涵養を目指す ○ひろい知性 智 <かしこく> 基礎的・基本的な知識および技能を習得させ、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むことを目指す ○すこやかな身体 体 <たくましく> 食育の推進と体力の向上を目指す
目指す学校像	・生徒と生徒、生徒と教職員の間に信頼関係のある学校 ・授業が充実し、「分かる」「できる」「定着する」が実感でき、ICT教育を推進する学校 ・人権を尊重し、クワトロゼロ（いじめ・不登校・校則違反・偏食）を目指す学校 ・チーム縦中として学校・家庭・地域が一つになって共に歩む学校
目指す生徒像	・人権を尊重し、心豊かな、美しい感性をもった、自他を大切にする生徒 ・毎日の授業や家庭学習を大切に、自ら考え、意欲的に学習する生徒 ・規範意識を身に付け、責任を果たし、国際社会の一員として、社会に貢献できる生徒 ・文武両道の精神をもち、心身共に健康でたくましく、何事にも粘り強くやりぬく生徒
目指す教師像	・生徒に対する教育的愛情と、教職に対する情熱と使命感をもっている教師 ・豊かな感性を持ち、明朗かつ健康で、人間的魅力にあふれている教師 ・高い「授業力」をもち、生徒に確かな学力を身に付けることができる教師 ・社会的良識と自ら学ぶ意欲をもち、組織人としての責任感、協調性を有する教師

○令和6年度 学校経営計画における重点内容  ・確かな学力の定着と向上 ・豊かな心の育成と体力の向上に向けた取り組みの推進 ・いじめ・不登校への対策の強化 ・G I G Aスクール構想による一人1台端末を活用した教育活動の充実 ・地域と連携した取り組みの推進 ・文化・スポーツ活動の取組の推進 ・学校マネジメントの強化	評価は4段階で行う。（A B C D） A 妥当適切である B ほぼ妥当・適切である C あまり妥当・適切ではない D 妥当・適切ではない
---	---

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価			
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等	
各教科指導等	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業の実施	①授業時数、授業時間を確保し、積極的、効果的にタブレット端末を使用する。	4	生アでの「興味関心がわき、学びたいと思える授業ですか？」の肯定的な回答 90%～100%	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問:基礎学力の定着（授業時間確保や補習学習）についての肯定的回答 80%以上	4	・やはり教科によってばらつきがあり、教員によってもばらつきがある。実技教科4教科で興味関心が高く5教科でも若干80%を下回る教科が出てしまった。	・前期のアンケートでしっかり振り返り、全ての教科で80%を超えるよう授業の改善を行っていく。又校内研修でも年2回の互見週間で行っていき、お互いの授業を見合って、授業力の向上に努める。	B	B	・学びたいと思うように授業を行うのは難しいと思いますが、5教科で肯定的な回答が上がることを望みます。 ・授業への興味関心は学力向上の一步と思われるので授業の質の向上を目指してほしい。 ・同じ地域に存する両国高校との連携を行い授業観察等による教員の授業力向上図ってはいかがでしょうか。
			3	生アでの「興味関心がわき、学びたいと思える授業ですか？」の肯定的な回答 80以上%	3	学校関係者評価（保護者・地域）設問:基礎学力の定着（授業時間確保や補習学習）についての肯定的回答 70%以上						
			2	生アでの「興味関心がわき、学びたいと思える授業ですか？」の肯定的な回答 60%以上	2	学校関係者評価（保護者・地域）設問:基礎学力の定着（授業時間確保や補習学習）についての肯定的回答 60%以上						
			1	生アでの「興味関心がわき、学びたいと思える授業ですか？」の肯定的な回答 60%未満	1	学校関係者評価（保護者・地域）設問:基礎学力の定着（授業時間確保や補習学習）についての肯定的回答 60%未満						
	特別な支援を必要とする生徒に対しての、組織的な支援等を行う。	①校内委員会による個別指導計画を対象とする生徒全員作成し、実施、評価、改善を図る会議を10回設ける。	4	校内委員会の実施状況。100%、取り組めた。	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問:基礎学力の定着（生徒の個性を理解し、一人一人の学力を伸ばそうとしている。）についての肯定的回答 80%以上	4	・校内委員会はしっかり実施していたが、特別な支援が必要な生徒が増えているため対応できていない現実もある。	・年度初めに要配慮生徒の確認はしているが、年度を通じて要配慮生徒の確認ができるように、年度初めに書式を作成し、何かあったら赤字で追記し、新規対象者が出た場合も赤字で作成し、職員会議でも報告していく。 ・校内委員会の頻度、内容、メンバーの確認をする。	B	A	・特性のある生徒、配慮を要する生徒の年間を通じた教職員間の情報共有は重要である。共有が十分されていないことが生徒に対する体罰や不適切な指導につながることから未然防止の観点からも早急に対応していく必要がある。
			3	校内委員会の実施状況。80%以上、取り組めた。	3	学校関係者評価（保護者・地域）設問:基礎学力の定着（生徒の個性を理解し、一人一人の学力を伸ばそうとしている。）についての肯定的回答70%以上						
			2	校内委員会の実施状況。60%以上、取り組めた。	2	学校関係者評価（保護者・地域）設問:基礎学力の定着（生徒の個性を理解し、一人一人の学力を伸ばそうとしている。）についての肯定的回答60%以上						
			1	校内委員会の実施状況。60%未満、取り組めた。	1	学校関係者評価（保護者・地域）設問:基礎学力の定着（生徒の個性を理解し、一人一人の学力を伸ばそうとしている。）についての肯定的回答60%未満						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	①職業体験については、堅中ハローワークを活用して、求人票や履歴書の作成など、実際の就職活動に準じた指導を行う。		4	職場体験後の生徒アンケートによる満足度90%以上満足	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問：我が子と、将来の生き方や進路について話しをしている。での肯定的回答80%以上	・今年度コロナ明けで久しぶりに実施したが、十分満足のできる職場体験ができた。職場体験箇所が不足した部分があった。	・もう少し早めに地域に依頼し、職場訪問先を増やすように計画を立てる。	A	B	・地域で職場体験ができるのは素晴らしいです。具体的な資料をいただければ、協力をしたいと考えております。 ・役所を通し協力企業を募った方が良いと思います。 ・職場体験ができる事業所の獲得に地域としても協力したい。 ・職場体験には是非来てほしいという声を聞いたので増やすことは可能と思う。後は受け入れ先がメリットになる取組が協力先を増やすために重要。 ・受け入れ企業に対する表彰などのインセンティブを教育委員会とも連携して実施してはいかかが。
			3	職場体験後の生徒アンケートによる満足度80%以上満足	3	学校関係者評価（保護者・地域）設問：我が子と、将来の生き方や進路について話しをしている。での肯定的回答70%以上					
			2	職場体験後の生徒アンケートによる満足度60%以上満足	2	学校関係者評価（保護者・地域）設問：我が子と、将来の生き方や進路について話しをしている。での肯定的回答60%以上					
			1	職場体験後の生徒アンケートによる満足度40%以上満足	1	学校関係者評価（保護者・地域）設問：我が子と、将来の生き方や進路について話しをしている。での肯定的回答60%未満					
いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組を行う。	①いじめアンケートを年5回実施し、生徒の意識を高めるとともに、保護者アンケートも年2回実施し早期解決に努める。全校で年間3回の面接期間を設け、生徒、保護者の教育相談を実施する。		4	『生活意識調査』年5のアンケート生徒・保護者より早期発見の取組実施状況100%	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問：いじめや暴力（暴力的言動のない）学校づくりにとりにくんでいる。肯定的回答80%以上	・ふれあい月間（6月11月）、iチェック年2回、学校評価アンケート年2回などを行い、年3回の面接期間も実施し、いじめ、不登校の早期発見に努めた。	・いじめ見逃しゼロを掲げ組織的に対応している。さらに毎月10日のすみだいじめ防止の日にタブレットを使っていじめの様子を確認する。 ・不登校については、SSRを活用し教室復帰を目指す取り組みと新規に不登校になる生徒を減らす取り組みを徹底する。	B	B	・難しく時間を要する課題によく取り組まれている。 ・堅中の先生方は生徒達と積極的に関わってくれていると感じています。 ・仕事の都合で参観することができなかったが、いじめ等に対する耐性の伸長は興味があった。この観点からの耐力力の育成も注目していきたい。
			3	『生活意識調査』年5のアンケート生徒・保護者より早期発見の取組実施状況90%以上	3	学校関係者評価（保護者・地域）設問：いじめや暴力（暴力的言動のない）学校づくりにとりにくんでいる。肯定的回答70%以上					
			2	『生活意識調査』年5のアンケート生徒・保護者より早期発見の取組実施状況80%以上	2	学校関係者評価（保護者・地域）設問：いじめや暴力（暴力的言動のない）学校づくりにとりにくんでいる。肯定的回答60%以上					
			1	『生活意識調査』年5のアンケート生徒・保護者より早期発見の取組実施状況80%未満	1	学校関係者評価（保護者・地域）設問：いじめや暴力（暴力的言動のない）学校づくりにとりにくんでいる。肯定的回答60%未満					
生活指導等	基本的な生活・社会規範、人間関係づくりのための心の教育に取り組む。（いじめ・不登校、校則違反、偏食ゼロ）	①生活アンケートを生徒が実施・集計・分析し、全校に働きかける。給食の残菜を2%以下にする。	4	『生活意識調査』年5のアンケート生徒・保護者より早期発見の取組実施状況100%及び残飯率2%未満	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問：「心を育てる教育」（道徳教育など）に積極的に取り組んでいる。肯定的回答80%以上	・ふれあい月間（6月11月）、iチェック年2回、学校評価アンケート年2回などを行い規律ある生活と心の教育に取り組む、特に大きな問題は起きていない。 ・給食指導や食育を徹底し残菜ゼロを目標に行うことができた。	・さらに簡単な生活アンケートを定期的に行い、生活ルールの徹底を行う。 ・残菜ゼロを継続し、栄養教諭を中心に組織的に取り組む。	B	B	アンケートを活用し、頻繁に意見を聞く姿勢が見えます。 ・堅中の給食は非常に充実していると思う。毎日当たり前に食べられることの尊さをしっかり伝え、残菜0になる事を願います。 ・組織の中でコミュニケーション能力の乏しい人間の割合が増えている。次代を担う人材である中学生に対する「心を育てる教育」は肝要である。
			3	『生活意識調査』年5のアンケート生徒・保護者より早期発見の取組実施状況90%以上及び残飯率2%以上	3	学校関係者評価（保護者・地域）設問：「心を育てる教育」（道徳教育など）に積極的に取り組んでいる。肯定的回答70%以上					
			2	『生活意識調査』年5のアンケート生徒・保護者より早期発見の取組実施状況80%以上残飯率5%未満	2	学校関係者評価（保護者・地域）設問：「心を育てる教育」（道徳教育など）に積極的に取り組んでいる。肯定的回答60%以上					
			1	『生活意識調査』年5のアンケート生徒・保護者より早期発見の取組実施状況80%未満残飯率5%以上	1	学校関係者評価（保護者・地域）設問：「心を育てる教育」（道徳教育など）に積極的に取り組んでいる。肯定的回答60%未満					
危機回避能力の育成や生徒の安全を確保するための取組等を行う。	①SNSによるトラブルの根絶に向け、生徒会を中心に生徒が自らルールを決め活用する。		4	教アで「GIGAスクール推進委員会の取組につながった」の肯定意見4以上	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問：インターネット上の問題（情報モラルなど）指導している。肯定的回答80%以上	・GIGAスクール推進委員会の人数配置など見直しを進め生活指導部とも協力してSNS学校ルールの見直しを進める。	・生徒会の活動として位置づけ、SNSでのトラブルを回避できるようにする。	B	B	SNSによるトラブルはこれからも多様化し増えていくと思われる。専門の取扱者が必要なのではないかと。 ・若い人がSNSを通して犯罪に巻き込まれる事象が増えている。先手を打ってSNS教育を実践してほしい。 ・SNSアカウント上のトラブルや影響には保護者のモラル向上も含めて対応していく事も大切だと思うようになりました。 ・情報リテラシーについても力点を置いて推進していただきたい。
			3	教アで「GIGAスクール推進委員会の取組につながった」の肯定意見3以上	3	学校関係者評価（保護者・地域）設問：インターネット上の問題（情報モラルなど）指導している。肯定的回答70%以上					
			2	教アで「GIGAスクール推進委員会の取組につながった」の肯定意見2以上	2	学校関係者評価（保護者・地域）設問：インターネット上の問題（情報モラルなど）指導している。肯定的回答60%以上					
			1	教アで「GIGAスクール推進委員会の取組につながった」の肯定意見2以下	1	学校関係者評価（保護者・地域）設問：インターネット上の問題（情報モラルなど）指導している。肯定的回答60%未満					

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営を行う。	①企画会の週一回の実施と月1回の職員会議を実施する。	4	企画会の週一回の実施と月1回の職員会議を実施100%	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問：生徒は毎日充実した学校生活を送っている。肯定的回答80%以上	・月一回の職員会議に向け計画的な企画会を開催した。週1回の実施は議題の関係や出張でできないときもあった。		B	A	・高校の「企画調整会議」と同様の高い目的意識を持った経営会議になる事を望みます。
			3	企画会の週一回の実施と月1回の職員会議を実施90%	3	学校関係者評価（保護者・地域）設問：生徒は毎日充実した学校生活を送っている。肯定的回答70%以上					
			2	企画会の週一回の実施と月1回の職員会議を実施80%	2	学校関係者評価（保護者・地域）設問：生徒は毎日充実した学校生活を送っている。肯定的回答60%以上					
			1	企画会の週一回の実施と月1回の職員会議を実施60%	1	学校関係者評価（保護者・地域）設問：生徒は毎日充実した学校生活を送っている。肯定的回答60%未満					
学校の管理運営	子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。	①生徒の実態を把握し、保護者や地域の意見を取り入れたチーム堅川中としての教育目標の設定を行う。	4	年2回の生徒授業アンケートの実施と学校公開時の保護者アンケートの実施状況100%	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問：教職員は保護者や地域の方の声に耳を傾けている。肯定的回答80%以上	・年2回の生徒アンケートを実施した。学校公開時の保護者アンケートは行事の際に多くの意見をいただいた。学校評価はもう少し余裕を持って行う必要があった。		B	B	・生徒だけではなく保護者にもアンケートを実施したのが評価できる。 ・地域が学校評価を適切に行う為にも、行事や公開授業等の案内を積極的に発信してほしい。 ・今後もタブレット活用を含め生徒の声を受け止めやすい環境作りに期待しています。
			3	年2回の生徒授業アンケートの実施と学校公開時の保護者アンケートの実施状況80%	3	学校関係者評価（保護者・地域）設問：教職員は保護者や地域の方の声に耳を傾けている。肯定的回答70%以上					
			2	年2回の生徒授業アンケートの実施と学校公開時の保護者アンケートの実施状況60%	2	学校関係者評価（保護者・地域）設問：教職員は保護者や地域の方の声に耳を傾けている。肯定的回答60%以上					
			1	年2回の生徒授業アンケートの実施と学校公開時の保護者アンケートの実施状況60%未満	1	学校関係者評価（保護者・地域）設問：教職員は保護者や地域の方の声に耳を傾けている。肯定的回答60%未満					
適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	①管理職による毎朝の校内巡回を実施する。	4	管理職による毎朝の校内巡回実施状況100%。	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問：本校は時代や社会の要請を採り入れて教育活動を行っている。肯定的回答80%以上	校長、副校長による毎日の校内巡回を実施し、教育環境の整備を行った。		A	A	・設備は古いのがきれいに保つことはできるので、学校への愛着を育む為にも校内環境の整備充実は大切だと思います。 ・教職員間の人間関係の良さがその組織を決定づけます。組織の人間環境の良好な構築を期待しています。	
		3	管理職による毎朝の校内巡回実施状況80%。	3	学校関係者評価（保護者・地域）設問：本校は時代や社会の要請を採り入れて教育活動を行っている。肯定的回答70%以上						
		2	管理職による毎朝の校内巡回実施状況60%。	2	学校関係者評価（保護者・地域）設問：本校は時代や社会の要請を採り入れて教育活動を行っている。肯定的回答60%以上						
		1	管理職による毎朝の校内巡回実施状況60%未満。	1	学校関係者評価（保護者・地域）設問：本校は時代や社会の要請を採り入れて教育活動を行っている。肯定的回答60%未満						
教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。	①毎月の学校便り・毎週の学年便りの発行、デジタルデータで配信する。HPの更新を随時行う。本校の教育活動に向けた広報活動の充実を図る。	4	教アで「ホームページやCOCOOの活用が充実している」等の肯定的な回答80%以上	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問：教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。肯定的回答80%以上	・学校だよりや学年だより保健だより等デジタルデータで配信することができた。ホームページの更新は、人手が足りず、必要最低限にとどまってしまった。		B	B	・デジタルデータは自分も活用し助かっております。やはり専用取扱者が必要なのではないか。 ・主任児童委員として支援のため保護者向けのCOCOOを送付してもらっているおかげで学校の様子が分かる。 ・HPの充実でアクセス数増をしている近隣校もあるので是非発信を増やしてもらいたい。	
		3	教アで「ホームページやCOCOOの活用が充実している」等の肯定的な回答70%以上	3	学校関係者評価（保護者・地域）設問：教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。肯定的回答70%以上						
		2	教アで「ホームページやCOCOOの活用が充実している」等の肯定的な回答60%以上	2	学校関係者評価（保護者・地域）設問：教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。肯定的回答60%以上						
		1	教アで「ホームページやCOCOOの活用が充実している」等の肯定的な回答60%未満	1	学校関係者評価（保護者・地域）設問：教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。肯定的回答60%未満						
保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。	①3年生対象に、学校支援地域協力会及び町会長等の外部人材による面接指導を実施。面接力の向上を図る。	4	教アで「地域行事への参加が充実している」等の肯定的な回答80%以上	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問：PTA、堅川中学校地域支援協力会、青少年育成委員会などの地域活動に関心をもっている。肯定的回答80%以上	・堅中フェスティバルやパワーアップ面接練習会で保護者や地域の協力を得ることができた。		B	A	堅中フェスティバル以外にも亀四フェスティバルにも参加してご協力いただいています。 ・地域の人は学校に対して協力的であるために時間も割いている。教員の働き方改革は重要だが、地域の人の前でその事を前面に押し出さないとはいけません。 ・以前に比べて積極的に地域と関わってもらえている様になってきているので今後も是非お願いします。 ・堅中地区の錦糸町駅南口パトロールへの参加も年数回は学校も協力していただくことは可能でしょうか。	
		3	教アで「地域行事への参加が充実している」等の肯定的な回答70%以上	3	学校関係者評価（保護者・地域）設問：PTA、堅川中学校地域支援協力会、青少年育成委員会などの地域活動に関心をもっている。肯定的回答70%以上						
		2	教アで「地域行事への参加が充実している」等の肯定的な回答60%以上	2	学校関係者評価（保護者・地域）設問：PTA、堅川中学校地域支援協力会、青少年育成委員会などの地域活動に関心をもっている。肯定的回答60%以上						
		1	教アで「地域行事への参加が充実している」等の肯定的な回答60%未満	1	学校関係者評価（保護者・地域）設問：PTA、堅川中学校地域支援協力会、青少年育成委員会などの地域活動に関心をもっている。肯定的回答60%未満						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
コミュニティースクールとして、学校運営協議会を立ち上げる	①10月、2月に学校運営協議会を行い、教員、保護者、地域に浸透させる。		4	教アで「コミュニティースクールを理解している」の回答100%以上	3	4	学校関係者評価（保護者・地域）設問：特色ある教育活動を推進している。肯定的回答80%以上	4	・10月、2月に学校運営協議会を開いたが、年度の途中からと言うこともありまだ浸透させるところまではいっていない。	コミュニティースクールとしての活動が、本校の特色ある活動になるよう堅川中の伝統でもある学校支援地域協力会や堅中地区健全育成委員会との連携をさらに強め、地域に根ざした学校運営を行う。	B	A	・墨田区の中学校中で最初にコミュニティースクールに選ばれたのは誉れです。今後も期待をしております。 ・育成や協力会の方と生徒や先生が気軽にコミュニケーションを取れる仕組みがあると良いように思います。 ・コミュニティースクールメリットであるCS公募を活用した人材の獲得を具現化していきましょう。
			3	教アで「コミュニティースクールを理解している」の回答90%以上		3	学校関係者評価（保護者・地域）設問：特色ある教育活動を推進している。肯定的回答70%以上						
			2	教アで「コミュニティースクールを理解している」の回答80%以上		2	学校関係者評価（保護者・地域）設問：特色ある教育活動を推進している。肯定的回答60%以上						
			1	教アで「コミュニティースクールを理解している」の回答80%未満		1	学校関係者評価（保護者・地域）設問：特色ある教育活動を推進している。肯定的回答60%未満						

○令和6年度 学校経営報告のまとめ（総括）

・概ね学校経営計画通り実施することができた。各教科指導面や生活指導面でも確かな学力の定着や豊かな心の育成等で組織的、計画的に実施することができ成果が上がっている。不登校対策や体力向上の面で多少課題が残る。学校の管理運営についても順調であり、家庭、地域連携については、元々が学校に協力的な地域なので、今年度からコミュニティースクールになったことも含め、さらに地域に根ざした教育活動を進めていく。